

第5学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年11月5日(土)第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立興本小学校
 指導者 1組 37名 指導者 新井真弓
 2組 36名 指導者 白鳥真成

- 1 主題名 みんなの力で
- 2 教材名 「森の絵」
- 3 本時のねらい 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、集団生活を充実させようとする態度を養う。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
導入	1 学習課題を設定する。	○学級の係決めを行ったときのことを、思い出してみよう。 ・じゃんけんで負けたから、仕方なくなった。 ・なりたかったから、○○係になった。	・自分が係を選んだ理由や経緯を挙げさせておくと、えり子と自分を重ねて考えやすくなる。
展開	2 「森の絵」を読んで考え、話し合う。	○どこか仕事が投げやりで、鉛筆を持つ手に力が入らないえり子の気持ちを考えてみましょう。 ・やはり女王の役がやりたかった。 ・悔しい思いがあった。 ・めぐみが上手になっていって悔しい。 ・本当は自分の役は気に入らない。 ○えり子はどんなことを考えて「もう少し、ブルーでかげを付けようかなと、思っているの。」と言ったのでしょうか。 ・少しでもいいものを作りたい。(向上心) ・自分の仕事を頑張ろう。(勤労) ・みんな頑張っているのだから、自分だってやらないと。(よりよい集団生活)	・内容確認は簡単に行い、えり子の気持ちについての発言が出てきたときは、どうしてそう思ったのか、理由を問い返すようにする。 ・えり子の気持ちについて、なぜそう思ったのかを問い返すことで、より深く考えさせる。
	3 多面的・多角的に考える。	○文男の「だれかがやらないと、げきにならないじゃないか。」とは、どういう意味でしょう。 ・一人でも欠けたら劇ができなくなる。 ・文男は文男で、えり子はえり子で必要な役をしている。 ○役割を果たすとは、どのようなことでしょう。 ・自分の役割を果たすこと。 ・みんなのことを考えて行動すること。 ・すべきことを最後までやり通すこと。	・文男の発言の意味について。補助発問として適宜発問するようにする。 ・児童の中に考えの深まりが出てきたところで、もう一度中心発問に返って考えさせるのも効果的である。
終末	4 自己の生き方について考える。	○本時を通して分かったこと、思ったことなどをワークシートに書きましょう。	

- 5 評価
 - ・えり子の不満や、やる気を出してから気持ちの変化を、自分のこととして捉え、理解していたか。
 - ・自己のこれまでの生活について振り返って考えていたか。